

長崎北病院 伝言板 4月号

平成29年4月1日発行

4月。桜咲く春。3月に花開く所あれば5月中旬やっとはころぶ桜あり。ソメイヨシノ、江戸彼岸、緋寒桜など。300種以上あるという。咲き誇るもよし、ひっそりと咲くも風情。桜は桜。いつか咲く。



1/486

春4月。スーツ姿の新人が目立つ季節です。新しい職場、初めての社会人。喜びや期待はあれど、緊張と不安も大きい。でもご心配なく。偉そうに見える先輩も、何もできずにオロオロしていた昔の新人ですよ。すぐに慣れます。

さて、今年4月には51名の新人が当院に加わります。転職や結婚などで当院を離られた方もおられますが、昨年度より20名以上増えます。



4月には総職員数は486名。滑石の旧病院時代には150名程度の職員数でしたから、新病院になって約3倍に増えています。

病院の質は「人」で決まります。人の「量と質」です。建物や機械はお金をかければそれなりのものが手に入ります。しかし「人」に関してはそうは行きません。お金をかけても一気にレベルアップすることはできません。少しずつ数を増やし、質を高めていく地道な努力しか方法はありません。医療は高度化し、仕事は増えていますので単純に比較はできませんが、量的には以前より随分充足してきたと思います。「質」に関しては数字で表すことは難しいですが、以前よりもできることは増えているのではないかと思います。今後も進化し続けるには、新しく加わる人のパワーや感性とこれまで働いてきた人の知恵や経験が財産です。

新しく加わる新人は、まだ何もできないのが当たり前。大きな期待はしていますが最初は当てにはしていません。まずは自分の仕事場、仕事の内容を良く知ることです。周りを見回し、観察する。そして基本的な仕事を少しずつできる様になる事が大切です。先輩を見て、習い、教えてもらう。できる人の知識や手技を学ぶ、真似する事によって短時間である程度のレベルまでたどり着くことができます。自分だけでたどり着くには何倍もの時間と努力が必要。非効率的です。あるレベルまでは、「教わり上手」になる事が一番近道です。しかし、その先に進む、超えていくには、自分の時間を使い、努力することも必要です。それを続けていけばいつのまにか追い越しています。そして、その先、その道のプロとなって欲しい。免許があるだけではプロとは言えない。

「プロフェッショナルとは自分の力を信じて努力を続ける人。自分の仕事に夢とプライドを持ち続ける人」であると思っています。まずその道のプロとして1/486の仕事がきちんとできるようになる。



もちろんそれだけでは不足です。病院は色々な職種の人が集まって協力して初めて機能します。1/486だけの働きの人だけでは。皆の仕事も理解し、協力し合い、助けてもらうことで病院全体の能力は高まります。

486人分ではなく、何倍もの力を発揮できます。チーム医療という言葉がありますが、病院で働くなら最低限のことだと思っています。自分を磨きながら、ひとつの方向にまとまって協力して進む。これができない人は医療の世界では働けません。たかが1/486、されど1/486。その「人」によって医療は成り立っています。(A.S.)



私たちは 患者様最優先 (PF: Patients First) の医療を行います。

— 思いやりの心 — 質の高い医療 — 明るい職場 —